

NETISを使えば良いってものじゃない

NETISとは

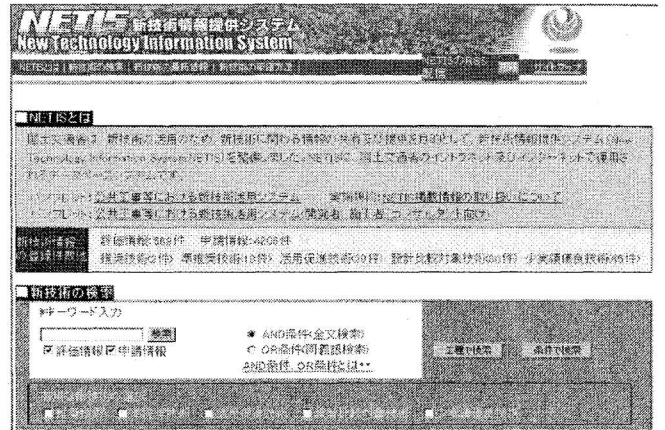
NETIS（ねていす）は国土交通省が、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備した新技術情報提供システム（New Technology Information System:NETIS）のこと。

平成10年度から整備がはじまり、平成13年度からインターネット上で公開されており、検索・閲覧が出来る。平成14年度からパイロットで新技術の導入検討やコスト縮減検討が設計業務に加わり、積極的に活用、提案するようになった。今や新技術の活用は当たり前。

宮地エンジニアリングのFRP製品で

NETIS登録されているものは以下の3つ。

- ・FRP合成床版(CB-980002-A)
- ・合成床版橋 QS Bridge(HR-050007-A)
- ・QS Slab(KK-050107-A)



新技術を活用、提案、採用する

新技術、NETIS登録技術をやみくもに採用すれば良いというものではない。業務の特色、客先担当者、事務所、局の意向にあわせて、選択することが重要である。

設計業務（コンサルタント）に求められるテーマ
コスト縮減、施工環境向上、景観環境対策・・・
例えばコスト縮減にも種類がある。→

工事（ゼネコン・架設会社）に求められるテーマ
工期短縮、品質向上、環境対策、安全対策・・・

新技術を提案、採用する場合は導入することによって得られる効果を証明しなければならない。

設計業務（コンサルタント）の場合
プロポーザル技術提案書、新技術活用に関する検討書、コスト縮減に関する検討書

工事（ゼネコン・架設会社）の場合
総合評価技術提案書、実施計画書、履行報告書、
高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書

テーマ	ねらい
初期コスト	材料削減 施工の合理化
時間的コスト	供用の早期化 工期短縮
ライフサイクルコスト	耐久性向上 維持管理費削減 構造機能低下の回避
社会的コスト	環境負荷軽減 渋滞緩和 工期短縮
新技術適用による コスト縮減	新技術・新工法活用